

# 出張講義

## 観光

### どうする？農村地域のインバウンド観光。

担当教員:張 明軍 准教授

日本のインバウンド観光需要が増加する一方で、オーバーツーリズムの問題も注目されている。特に農村地域においては、訪日客の受入れに期待が寄せられる一方で、受け入れ体制の課題や地域住民の意識へのアプローチが必要であることが指摘されている。また、今後のインバウンド観光政策においても、地域住民の意識に基づく視点で研究を深める必要がある。

どうする？農村地域のインバウンド観光。この授業で解説します。

授業内容:

- ★インバウンド観光の概況
- ★農村地域におけるインバウンド観光推進の有効策
- ★農村地域におけるインバウンド観光推進の課題

- 受講人数の目安:20~30人
- 所要時間の目安:40~50分
- 高校でご準備いただきたいもの:パソコン、プロジェクター、スクリーン